

JICAによる鉄道プロジェクトについて



(写真)2019年にオールジャパンの支援で開業したジャカルタMRTと沿線の様子
(出典:<https://www.facebook.com/jakartamrt>)

2022年2月28日

国際協力機構(JICA)
副理事長 山田 順一

1. 鉄道システムの海外展開(今後の方向性)

コモディティ (例) 車両、信号、AFCシステム等の輸出



タイ・レッドライン車両



インド・AFCシステム

システム全体+ノウハウの輸出



ミャンマー国鉄への指導風景



デリーメトロの女性運転手

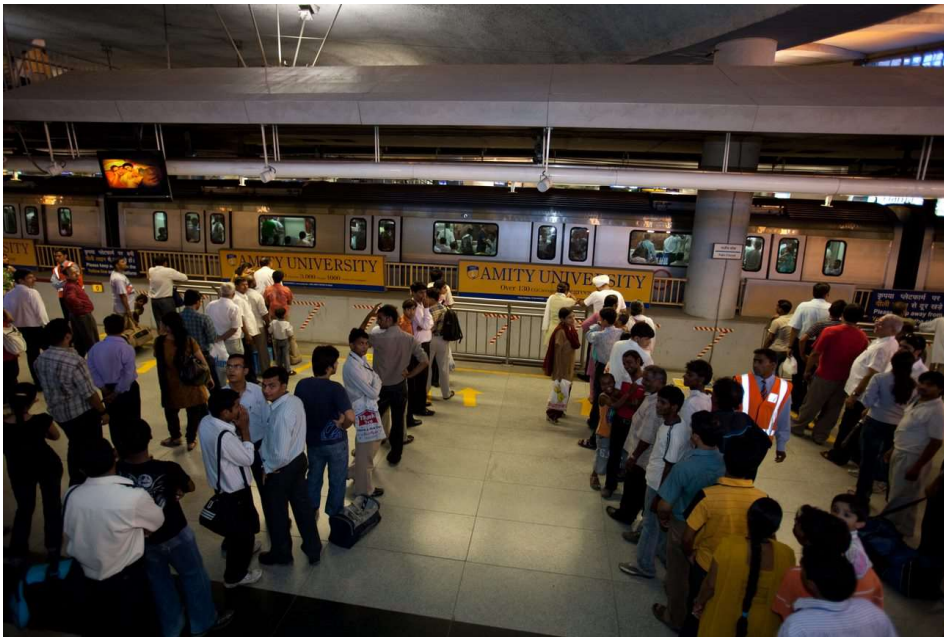
(写真出典(インドAFC): 日本信号株式会社プレスリリース)

<https://www.signal.co.jp/wordpress/wp-content/uploads/2021/04/34.pdf>

(写真提供(ミャンマー国鉄への指導風景): 日本コンサルタンツ株式会社(JIC))

2. 鉄道 × 社会変革 ～インド・デリーメトロ

- 2006年11月に第1フェーズ(※65km)全線開通
- 開業により沿線土地価格が上昇 → Land Value Captureの実現
- 整列乗車の浸透、女性用トイレや女性専用車両導入 → インド社会の社会的変革を実現
- 電力回生ブレーキなど、日本の省エネ技術を導入 → CO₂排出量削減
- 地下鉄工事では、女性初の現場監督(※日本人)が日本式の品質及び安全管理を徹底



↑ デリーメトロでの整列乗車の様子



↑ 女性専用車両の様子

3. 鉄道 × 人材育成 ～ベトナム等での人材育成

- 開発途上国によるオーナーシップ確保の上では、人材育成が重要
- 人材育成は、日本の鉄道事業者(※JR東日本、東京メトロ等)の協力を得て実施中
- JICAは、マスタープラン作成から、建設、運行・維持管理まで一体的に支援



↑ ベトナム都市鉄道担当者に対する
東京メトロでの訪日研修



↑ フィリピン運輸省職員に対する
東京メトロでの訪日研修

4. 鉄道 × 都市開発 ～タイ・バンズー駅周辺開発

- 鉄道の利用者数増加のためには、駅周辺の都市開発も重要(TOD推進)。
- JICAは、タイ国バンズー中央駅(※)を核とした地区のスマートシティ開発を支援。

(※)バンズー中央駅は、レッドラインをはじめとする鉄道ターミナル駅



↑ バンズー地区全体の将来イメージ図



↑ バンズー地区の建設風景